



## 「地域医療連携室から新春のお喜びを申し上げます」

地域医療連携室室長補佐 看護副部長

まぶち のりこ  
馬瀨 典子

富山に来て3回目の新春を迎えました。

たった3回ですが、毎年、気候の違いに右往左往しています。病院の引っ越しが終わったばかりの平成29年のお正月には雪がなくて、毎日一緒に出入り口に立って下さったボランティアさんが「お正月に雪がないなんて寂しい…」と言っておられたのを覚えています。昨年（平成30年）は、年が変わる前から何度も大雪で、正面玄関は開いたものの自動ドアのセンサーに雪がついてドアが開いたままになってしまい、強い風と共に雪が猛吹雪の勢いで舞い込んで、中に置いてある車椅子に雪が積もっているようなこともありました。そして夏、暑い夏でしたね。昨年私の記事に登場した94才一人暮らしのおばちゃんは、夏の暑さを心配した息子（私の従兄）が自分の家に連れて行きましたが、その日にトイレに行こうとして転んで、入院し、夏から冬まで施設入所しました。あの土間から30センチ以上の段差がある田舎の家に連れて行ってあげたくても、施設で暮らす間に車椅子生活になり、認知機能も衰えているようです…「住み慣れた家で最後まで」って、どうしたら叶うのでしょうか？本人や家族が一生懸命でも叶わないこともあるんですね…

私が看護師になった1980年代は、救急室に運ばれば、その場で救命処置が行われ、個室は全て人工呼吸器がついた患者さんで埋まり、私たちは、毎日走り回っていました。その後、医療費の高騰や人の生き方が問われ、国の施策でも在宅療養が推進されてきています。私たち病院従事者にも「家に帰れない人はいない。医療者がバリアを作らないで」と言われています。その人がその人らしい人生を全うできるよう、「家」には帰れなくても、せめて、安心してその「土地」で暮らすことができるよう「地域包括ケア」のシステム作りに向かって「猪突猛進」にならないよう、できるだけ多くの地域を支える皆さんとの話し合いを重ねてシステムを作ることが出来ればと思います。富山ろうさい病院地域医療連携室も微力ではありますが、力を合わせてその一端を担えればと思っています。

さて今年…平成と言う元号が変わる年…どんな1年になるのでしょうか？今年も皆さまの、厳しいそして温かなご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



### 【生活習慣病教室のご案内】

日時 平成31年1月30日（水）14時～15時 テーマ『認知症』

「認知症ってなあに？」「頭と体を動かそう！」「認知症に関わるお薬について」の3つのお話を準備して、皆様のお越しをお待ちしています。

会場 富山ろうさい病院 2階 採血室待合 2階外来受付に声を掛けてください。

申し込み・問合せ 2階外来（0765-22-1280）

### 糖尿病川柳 作品の発表

たくさんのご応募ありがとうございました。院内で選考させていただきました結果、受賞作品を発表いたします。



《最優秀賞》	あれはダメ	これもダメよに	逃げる父	（チェック娘）
《最優秀賞》	糖尿病	基本を守って	皆笑顔	（宴会屋）
《優秀賞》	目標を	持って守ろう	糖尿病	（ミッチャン）
《優秀賞》	糖尿は	しっかり治そう	あせらずに	（魚津の海のほたるいか君）